

人と牛との良好な関係をめざして

**放牧家畜の行動特性と安全な家畜管理作業
管理者に必要なストックマンシップ**

東北大学 大学院農学研究科 准教授

深澤 充

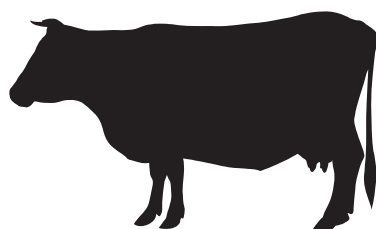
管理者に必要な ストックマンシップ

東北大学大学院農学研究科

准教授 深澤 充

家畜を取り巻く環境

- 施設、設備、管理者



ストックマンシップ（広義）

- Stockmanship

Stockman : 家畜を飼う人

+Ship : . . . の能力、力量や手腕

つまり、飼い主として**能力、力量**

広義には家畜生産に関わる「能力・力量」全般

ストックマンシップ（狭義）

- 谷田（1997）

「家畜との絆を形成する能力」

家畜にとっての「ヒト」=生来的には「怯え」の対象



家畜と「良い関係」を築いて、怯えを抑える
⇒施設や設備だけでは対応できない

ストックマンシップの3要素

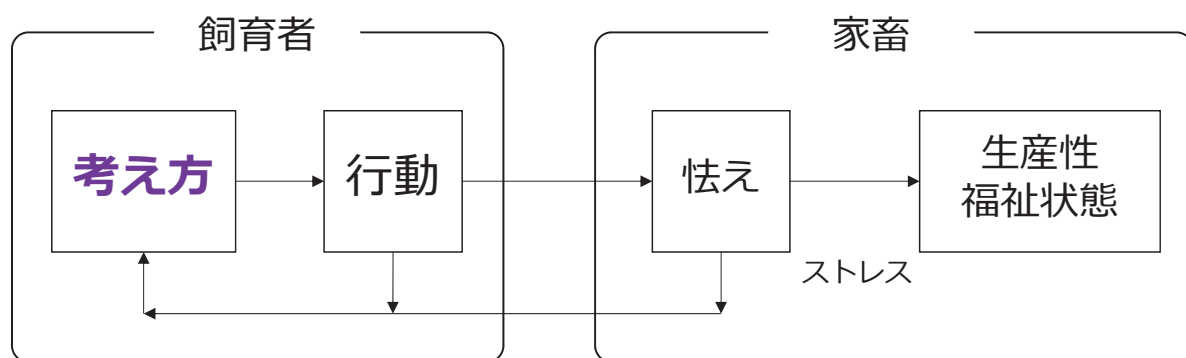
- 英国：農用動物福祉協議会（2007）
ストックマンシップの3要素

1. 管理の知識（Knowledge）
2. 管理の技術（Skill）
3. 個人の資質（Personal qualities）

「動物への親近感や共感、やる気と根気」
動物や畜産業に対する**考え方**
⇒学習や経験によって変えることができる

精神論ではない！

考え方が行動（家畜への接し方）を決め、
行動が家畜との関係を決める



畜産業における人と動物の関係モデル
(Hemsworth & Coleman, 2011 を改変)

飼育者の考え方が生産性に与える影響

		好意的な考え方との相関
管理者の行動	好意的な接触数	0.17
	否定的な接触数	0.13
	極めて否定的な接触数	-0.36
	極めて否定的な接触数の割合	-0.50*
	穏やかな声掛け	0.45*
	高圧的な声掛け	-0.25
	腕を振った回数	-0.28
牛の行動	搾乳時間問題行動	-0.37*
生産性	乳量	0.48*
	乳蛋白質量	0.47*

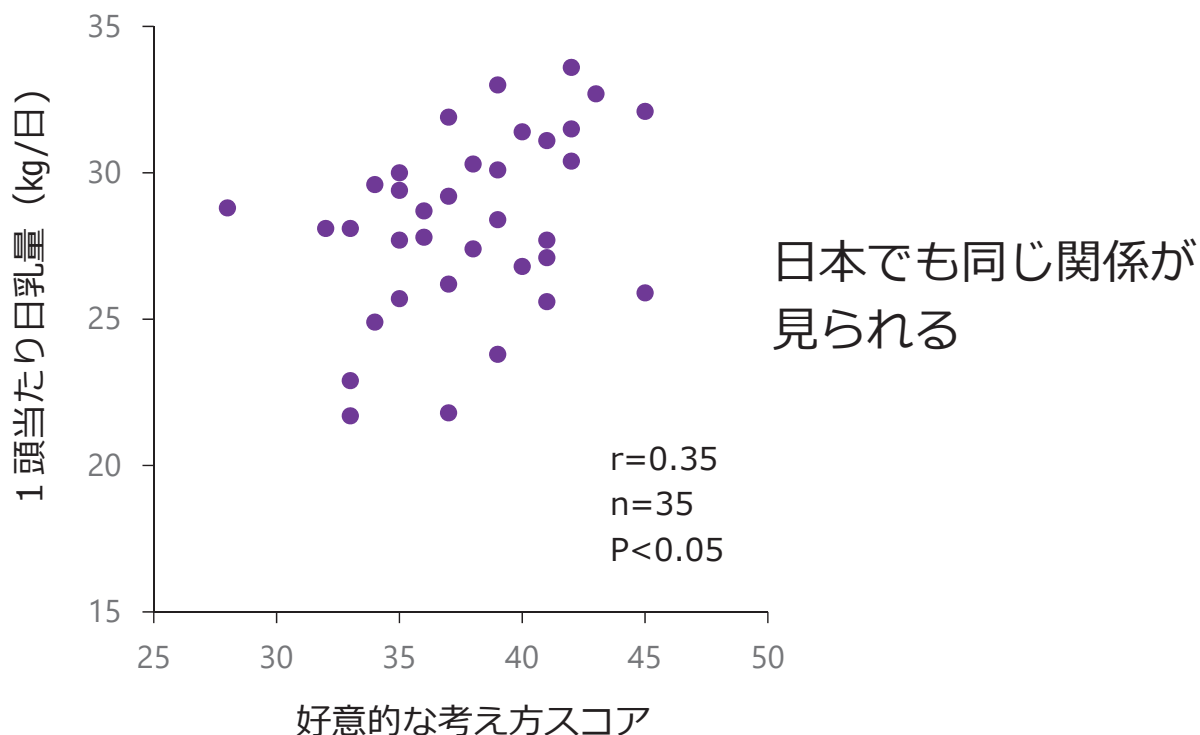
*:P<0.05で有意な相関

(Breuer et al. Appl. Anim. Behav. Sci. 66, 273-288より改変)

飼育者の考え方が生産性に与える影響

- 酪農家での調査
- 牛群検定に参加している酪農家 35戸
すべて家族経営
- アンケート調査：5段階で好意的な考え方、否定的な考え方について評価してもらい、その総和をスコアとした
- 経営主が回答
- 検定での1頭当たり乳量との相関

飼育者の考え方が生産性に与える影響



飼育者の考え方が生産性に与える影響

酪農家の仕事や乳牛に対する好意的な考え方のスコア^aと乳量の相関

論文	相関係数
Breuerら (2000)	0.48*
Waiblingerら(2002)	0.31
Panamá AriasとŠpinka (2005)	-0.09
Hannaら (2009)	0.24*
Fukasawaら(2016)	0.35*

^a:スコアが高い程、好意的な考え方を持っている

*:論文内で有意性 ($P<0.05$) の認められている相関

好意的な考えをもつ酪農家ほど生産性が高い

どうやって考え方を身につけるか

1. 徒弟制度

篤農家の下で生活・仕事を共にし、経験を積むことで、ふさわしい考え方・行動を身につける

2. 教育訓練プログラム

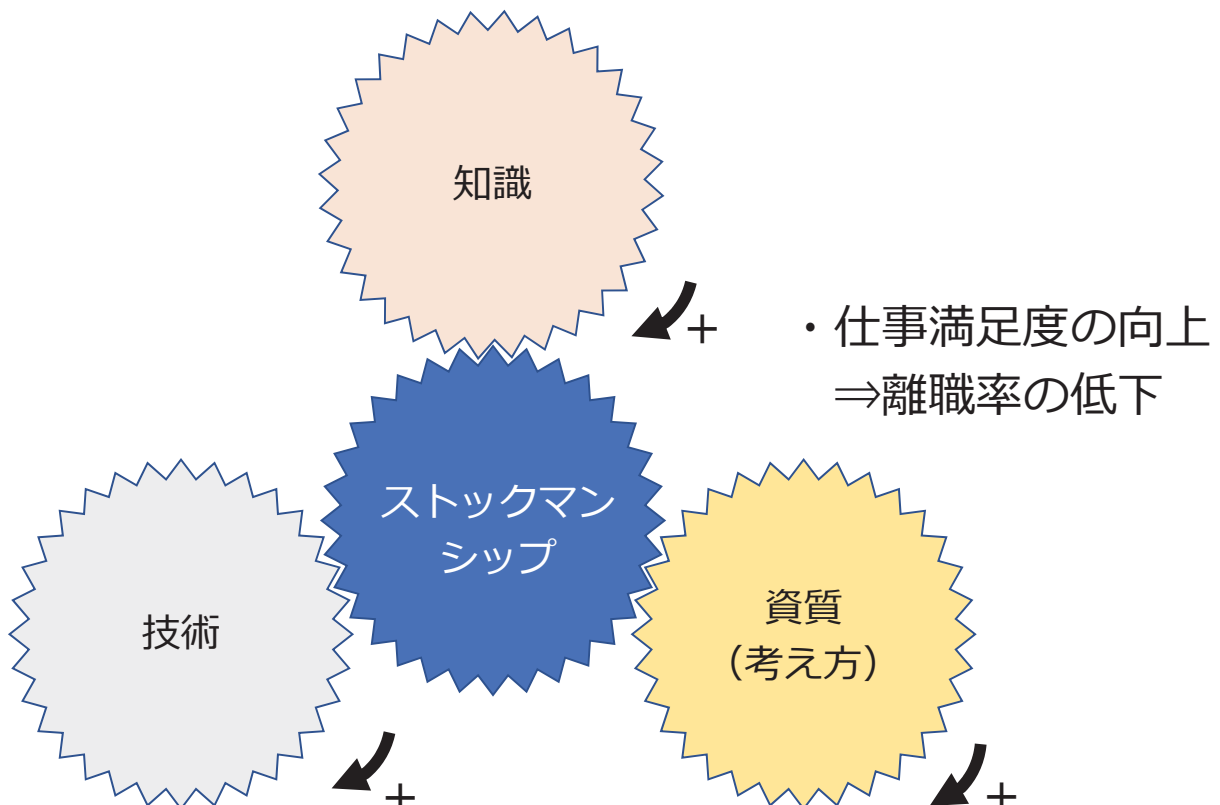
ProHAND（豪州）

Quality Handling（EU）

認知行動学的手法に基づく改善プログラム

イメージだけではなく、データを示しながら説明することで、誤った考え方・行動を改善する

3つの要素は歯車の様に噛み合う



本誌より転載・複製する場合は農研機構畜産研究部門の許可を得てください。

畜産研究部門 平 30 - 4 資料

放牧活用型畜産に関する情報交換会 2018

編集・発行 農研機構（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）

畜産研究部門 草地利用研究領域 山本嘉人・井出保行・中尾誠司

電話：0287-36-0111(代) FAX：0287-36-6629

〒329-2793 栃木県那須塩原市千本松 768

発行日 平成 30 年 10 月 18 日

印刷 近代工房

〒324-0036 栃木県大田原市下石上 1603